

令和元年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
(「指定管理者候補者選定」に係る審査)

- 1 開催日時 令和元年10月24日(木) 15:00~15:30
- 2 開催場所 青森市役所本庁舎1階会議室(旧青森銀行青森市役所支店)
- 3 対象施設 青森市小牧野遺跡保護センター
青森市小牧野遺跡観察施設
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員

委員長	横内 修(企画部理事次長事務取扱)
副委員長	山谷 直大(総務部理事次長事務取扱)
委員	森 宏之(青森大学教授)
委員	古川 司(東北税理士会青森支部税理士)
委員	高村 功輝(都市整備部次長)
委員	小笠原 聡(浪岡事務所次長)
 - (2) 施設所管課(文化財課)

課長	葛西 俊一
主幹	児玉 大成
主査	工藤 洋樹
 - (3) 制度所管課(財政課)

副参事	鈴木 健司
主幹	熊谷 圭介
主査	吉田 敏和
主事	磯野 竜太郎
- 5 案件 「指定管理者候補者選定」に係る審査
- 6 会議概要 応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、指定管理者候補者の選定を行った。
 - (1) 審査結果
 - ①指定管理者候補者
 - ・名称 一般社団法人小牧野遺跡保存活用協議会
 - ・住所 青森市大字野沢字沢部108番地3
 - ・代表者 代表理事 竹中 富之

②指定期間

令和2年4月1日からの5年間

③選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」を除いた点数（110.96点）が最低得点（85.5点）以上を獲得していること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた場合に、普通とした点数及び「財務の健全性」の配点の50%の点数の合計（68点）以上の点数（86.34点）を獲得していること。

7 主な質疑応答

委員：自主事業が4つ挙げられているが、世界遺産登録決定祝賀イベントは新規だと思うが、ほかの3事業はこれまで実施した事業なのか。

応募者：はい。例えばSNS投稿キャンペーンは、「縄文女子」をテーマにしたオブジェを制作し、そのオブジェを撮影してFacebookやInstagram等にアップしてもらおうと、ステッカーを差し上げるという内容となっている。

委員：職員の研修に関して、勤務シフト上、一堂に会して研修を行うのは難しいと思うが、実際、どのように考えているのか。

応募者：一度に7名全員は難しいので、数回に分けて実施することになる。

委員：同じく研修に関して、（事業計画書に）「専門家の指導を受けながら」という記載があるが、「専門家」とは具体的にどのような方か。

応募者：例えば、青森県考古学会の方であるとか、専門的な知識を持っている方を想定している。

委員：小牧野遺跡までのアクセス道路（農道）について、砂利道の煙幕が上がることもあるが、苦情などはあるのか。

応募者：実際に今まで苦情が寄せられており、一覧表にまとめている。例えば、自転車で来た方は、途中で引き返してきて、「道路を何とかしてくれないか」といった意見もいただいている。

委員：要望としては、（農道の担当課である）農地林務課が、水を撒くことは考えにくいので、にがりのもの（防塵剤）を撒いてもらったりするなど、出来る範囲でやってもらえればいい。

応募者：指定管理業務の範囲外だが、例えば、これまでも（農道の）両サイドの木の枝が垂れ下がってきときには枝を切ったり、農道に穴ぼこが出来てしまったりしたときには穴を埋めたりしてきている。

委員：外国人向けのパンフレットも用意するなど、非常に努力していると思うが、外国人の来館状況はどうなっているのか。

応募者：それほど多くない印象である。今後は、世界遺産登録を見据えて、英語版のホームページの作成が必要と考えている。それによって、海外の方にホームページを見ていただいて、来訪者のアップにつながればと思っている。

委員：事業計画書の「施設管理計画」の項目で、「仕様書に定める各項目を確実に実施します。また、以下の項目についても実施します。」と記載されているが、各項目は仕様書内に含まれているのか、それとも新たな提案なのか。

施設所管課：新たな提案である。